

■ 報告事項

(1) 令和7年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

令和7年度事業計画

【基本方針】

1. 観光を取り巻く環境と大津市の現状と展望

近年、観光業界はポストコロナの回復を遂げ、2024年の訪日外国人旅行者数は約3,687万人と過去最高を記録し、訪日消費額も8.1兆円に達するなど、観光市場は大きく成長しています。円安の影響や、日本の文化・自然・食といった多様な観光資源の再評価が追い風となり、海外からの旅行需要が高まっています。

また、国内市場においては、地域ならではの多様な魅力を求める旅行ニーズが拡大しています。大津市は、京都・大阪に近接しながら、びわ湖の豊かな自然環境や歴史・文化など、独自の観光資源を有し、都市近郊型の観光地として高いポテンシャルを備えています。今後は、こうした強みを活かし、観光地としての認知度と存在感の向上が求められます。

一方で、大津市は京都・大阪など周辺都市に観光の主目的地が集中していることや、市内観光資源の分散、二次交通における周遊性の課題などから、市内周遊が広がりにくく、滞在時間も比較的短い傾向にあります。びわ湖の風景や歴史文化資源は広く認知されているものの、観光地巡りにとどまるケースが多く見受けられます。今後は、宿泊や地域との交流を促す「体験型・交流型観光」の強化が重要な課題です。

さらに、近年の旅行者の情報収集手段の多様化に伴い、観光情報の発信力を高め、ターゲット層に向けた効果的な情報発信を進めることも不可欠となっています。こうした状況を踏まえ、本協会は大津の観光を単なる「訪れる場所」ではなく、「滞在し、体験し、地域と関わる場所」へと発展させることを目指し、令和7年度の観光振興施策を推進してまいります。

2. 令和7年度の重点方針

大津市では、令和6年度のNHK大河ドラマ『光る君へ』を契機とした観光施策が実施され、官民が連携して取り組んだ結果、多くの観光客を惹きつけ、大津市の認知度向上にも寄与しました。紫式部ゆかりの石山寺を中心に展開した関連事業は、関心を持った旅行者が実際に訪れるきっかけとなり、地域に賑わいをもたらしました。この流れを一過性のものとせず、観光資源をさらに磨き上げ、今後も安定した集客につなげていくことが重要です。特に、歴史・文化を活かした観光の充実や、関連施設・イベントの継続的な活用を進めることで、長期的な観光資産として定着させることを目指します。

また、令和7年度は、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025」および「大阪・関西万博」という二つの大型イベントが予定されています。これらを契機に、関西エリア全体の観光需要が高まり、大津にも新たな来訪者層が期待されます。特に、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025」の参加者や応援者に対して、お迎えするホスピタリティを通じて、大津市の魅力を感じていただき、再訪につなげることを目指します。また、大会期間中の会場内販売や関連イベントを活用し、大津ならではの特産品や地元の食文化・工芸品のPRを強化することで、観光消費の拡大を図ります。

こうした誘客施策を効果的に展開するためには、発信力の強化も重要な施策の一つです。近年、旅行者の情報収集手段がデジタル化し、SNSやオンラインメディアを通じた情報提供が欠かせません。特に、観光に関心を持つ層に向けた適切な情報発信や、検索エンジン対策、ターゲットに応じたデジタル広告の活用が求められています。本協会としても、WEBやSNSを活用したプロモーションを戦略的に行之、必要な情報を適切に届けることで、誘客の拡大を図ります。

また、2026年放送予定のNHK大河ドラマ『豊臣兄弟』に向けた準備も進めていきます。大津には、戦国時代に関連する歴史資源が数多く残されており、こうした歴史的背景を活かしながら、新たな観光需要の創出を図ります。関連施設の特別公開や、歴史愛好者向けの体験プログラムの充実を進め、ドラマ放送後の継続的な集客にもつなげていきます。

3. 持続可能な観光と地域資源を活かした滞在型プログラムの展開

びわ湖の豊かな自然環境や歴史・文化資源を活かし、滞在型・体験型の観光プログラムをより充実させることで、訪れた人々が「もう一度訪れたい」と思えるまちづくりを進めます。アドベンチャーツーリズムやウェルネスツーリズムといった、今後ますます注目されるジャンルにも対応できるコンテンツを整え、地域資源と組み合わせた魅力的な滞在プランを提供できるよう努めます。

また、「びわ湖大津SDGs教育旅行プログラム」は、地域の環境や文化を学ぶ機会として定着しつつあります。令和7年度は、このプログラムのさらなる発展を図り、インバウンドや企業研修向けのプランなど、新たな展開を模索していきます。これにより、教育旅行に限らず、多様な旅行者に持続可能な観光を体験してもらう機会を提供し、大津市の観光の幅を広げます。

4. 地域連携と観光協会の役割

本協会が推進する第3次中期ビジョンでは、観光を通じた地域経済の活性化と持続可能な観光地づくりを目指しています。これを実現するために、行政機関、地元商工会、文化団体、交通機関をはじめ、地域のさまざまな産業と連携し、地域全体で観光振興策を推進していきます。

また、滋賀県全域の観光振興を担うびわこビジターズビューローとも連携し、広域的な観光施策の推進にも取り組んでいきます。こうした地域・広域との連携を基盤に、本協会は、観光振興の推進役として、地域の魅力向上と観光地としての価値を高める取り組みを進めてまいります。

【重点事項（令和7年度）】

- 1. 歴史・文化資源と季節の特色を活かした誘客と観光消費の拡大**
- 2. 大型イベントを契機とした来訪者の交流・滞在促進と物産振興・地域消費の拡大**
- 3. デジタルマーケティングを活用した戦略的な誘客とプロモーションの推進**
- 4. 教育旅行・SDGsプログラムの発展と滞在型・体験型観光による地域内回遊性の向上**

【公益目的事業】

1. 観光宣伝誘客事業 [20,074千円]

(1) びわ湖大津の歴史資源や伝統文化を活用した誘客促進事業（補助）

紫式部・源氏物語ゆかりの地の取り組みをレガシーに、湖信会をはじめとする大津市内の社寺や歴史的文化財の特別公開、記念御朱印や季節料理の提供などを通じて、シニア層に加え、大河ドラマを契機に関心を持った女性や若年層の誘客を図る。

①びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）誘客キャンペーン

期 間 令和7年3月～6月、令和8年3月～6月

内 容 湖信会社寺を中心に、桜や若葉が彩るシーズンならではの体験や企画を展開し誘客促進を図る。

②秋の紅葉シーズンにあわせた周遊促進事業

期 間 令和7年9月～12月

内 容 日本天台三総本山をはじめとする社寺の特別公開や、季節限定の体験・グッズ販売を行い、若年層や女性層の周遊促進を図る。

③びわ湖大津のひな人形と梅めぐり事業

期 間 令和8年1月～3月

場 所 西教寺・膳所焼美術館・石山寺・叶匠壽庵寿長生の郷 他

内 容 市内で開催されるひな人形展や梅の名所を活かし、伝統文化と自然の魅力を発信し、冬期の観光周遊を促進する。

(2) 四季折々の自然・文化を活かした体験型観光プロモーション事業（補助）

びわ湖大津ならではの自然や歴史・文化の魅力を発信し、体験型観光のプロモーションを強化し、誘客促進を図る。また、地域資源を活かした持続可能な観光の視点も取り入れ、環境と調和した観光の推進を目指す。

①びわ湖の自然体験を通じた夏期誘客キャンペーン

期 間 令和7年6月～8月

内 容 びわ湖の水辺や山の自然をテーマに、体験型観光のプロモーションを展開し、夏期の誘客促進を図る。

②四季を通じた体験型観光プロモーション事業

歴史・文化・自然を活かした体験コンテンツを発信し、四季折々の魅力をPRする。

また、アドベンチャーツーリズムやウェルネスツーリズムの視点を踏まえ、地域資源を活かした持続可能な観光の視点も踏まえた展開を図る。

(3) 国スポ・障スポを契機としたスポーツツーリズム促進事業（自主）

国スポ・障スポの開催を契機に、大津市内で開催される競技大会やスポーツイベントの参加者や観戦者を対象に、市内の周遊促進を図る。

①スポーツイベントとの連携による情報発信

大津市内で開催される競技大会やスポーツイベントの会場にて、観光案内ブースの設置や物産販売を行い、来訪者への情報発信を強化し、市内観光を促進する。

②スポーツイベント会場を起点とした市内周遊促進事業

大津市内で開催される競技大会やスポーツイベントの観戦者を対象に、会員店舗での割引や特典を提供し、市内周遊を促進する。

③スポーツイベントの誘致

大津市を会場とする競技大会やスポーツイベントの誘致を推進する。

(4) 大阪・関西万博関連周遊促進事業（自主）

大阪・関西万博を契機にびわ湖大津への観光誘客を促進。PR ブース出展や、万博協会公式HPへの情報掲載を通じ、周遊促進を図る。

①滋賀魅力体験ウィークへの出展

期 日 令和7年8月29日(金)、30日(土)

内 容 関西パビリオンに滋賀・大津を体感できるワークショップ・体験ブースを出展する。

②万博協会公式HPへの情報掲載

万博を契機とした誘致や滞在型観光を促進するため、公式ウェブサイトでびわ湖大津の魅力を紹介する。

(5) コンテンツツーリズム誘客促進事業（自主）

多様化するターゲットの嗜好に対応したコンテンツツーリズム施策を展開し、びわ湖大津の認知度向上と誘客促進を図る。

①成瀬は天下を取りにいく誘客キャンペーン

大津市を舞台とした小説『成瀬は天下を取りにいく』に関連する聖地巡礼や周遊施策を通じて誘客キャンペーンを実施する。

(ア) 聖地巡礼マップの作成：作品ゆかりの地や観光名所を案内するマップを作成

(イ) JR膳所駅ウェルカム看板の継続設置

(ウ) 周遊促進事業の展開：作品ゆかりの地を巡る周遊促進施策を実施する。

②大河ドラマを活用した観光プロモーション

2025年大河ドラマ『べらぼう』や2026年大河ドラマ『豊臣兄弟』に関連した観光プロモーションを展開し、びわ湖大津への誘客を図る。

(ア) 浮世絵を活用した情報発信：大津市歴史博物館等と連携し、浮世絵・近江八景や東海道五十三次絵図を活用した情報発信を行う。

(イ) 明智光秀ゆかりのびわ湖大津観光プロモーション：滋賀県の戦国観光キャンペーンと連動し、西教寺をはじめとする戦国武将ゆかりの地を中止に観光プロモーションを実施する。

③びわ湖大津が舞台となった作品を活用した情報発信

大津市が舞台となった小説、アニメ、ドラマ、マンガなどのコンテンツを活かし、誘客促進を図る。

(6) 観光プロモーション事業（補助）

SNSやWEBメディアを活用し、ターゲット層ごとの戦略的な情報発信を行い、びわ湖大津の認知度向上と誘客促進を図る。また、データ活用を強化し、より効果的なプロモーションを展開する。さらに、旅行会社等へのセールス活動を通じて旅行商品造成を促進する。

①プロモーション企画・展開

ターゲット層を明確にし、季節ごとのテーマ設定やSNS広告・ウェブサイトを活用した統一感のある情報発信を実施。データ分析を活用し、効果的な訴求を図る。

②観光宣伝物作成事業

プロモーションを効果的に伝えるため、紙・デジタル両面での発信を行い、ターゲットに応じた内容を展開。来訪者データやアンケート結果を活用し、発信精度を高める。

③デジタルマーケティング推進

SNSやWEB広告を活用し、ターゲットに応じた情報発信を強化。データ分析を基に、プロモーションの最適化を図る。

④メディア広報PR事業

テレビや新聞、雑誌などへの情報提供を通じて、びわ湖大津のメディア露出を増やし、観光認知度の向上を図る。

⑤旅行商品の造成促進

旅行会社へのセールスやプロモーションを通じ、大津市をテーマにした旅行商品の造成を推進する。

(7) びわ湖大津観光大使事業（補助）

「びわ湖大津」の観光宣伝の一翼を担うびわ湖大津観光大使を選任し、市内での観光イベントや市内外での観光キャンペーン、SNS等を通じて、大津の魅力を広く発信する。

(8) 第71回びわ湖開き事業（自主）

湖国滋賀に春の訪れを告げ、びわ湖大津の観光シーズン開幕を広く発信するとともに、びわ湖に訪れる観光客の安全を祈念し、水の恵みに感謝する。あわせて、春から秋にかけて湖畔の賑わいを創出する多彩なイベントの幕開けとして開催する。

期 日 令和8年3月7日（土）

場 所 大津港、外輪船ミシガン等

関連事業 湖上パレード参加クルーズ・浜大津エリアにぎわい創出事業

2. 観光客受入整備事業 [32,415千円]

(1) ライトアップ事業（補助）

①夜間観光促進のためのライトアップ実施

夜間観光を推進し、宿泊・滞在型観光の促進を図るため、市内の歴史的建造物や・観光スポットのライトアップを実施する。

(ア) びわ湖大津春のライトアップ2025 桜の琵琶湖疏水

期 間：令和7年3月25日(火)～4月13日(日)

場 所：琵琶湖疏水

(イ) びわ湖大津夏のライトアップ

期 間：令和7年6月中旬～9月上旬

場 所：近江神宮楼門、西教寺参道、旧竹林院

(ウ) びわ湖大津春のライトアップ2026（桜の琵琶湖疏水）

期 間：令和8年3月下旬～4月上旬 予定

場 所：琵琶湖疏水

②「びわ湖大津 夏の夜もうで」プロモーション

7月～9月にかけて、大津市内で実施される湖信会社寺を中心としたライトアップやナイトイベント、琵琶湖畔での花火大会の情報を集約し、夜間観光を促進する。

(2) 大津のうなぎブランディング事業（補助）

大津のうなぎの認知度向上と地域の食文化を活かした誘客促進を図るとともに、地元への周知・啓発にも取り組む。グルメイベントの開催やWEB・SNSを活用した情報発信を通じて、大津のうなぎの魅力を広く発信する。

(3) 「かるたの聖地・大津」誘客促進事業（自主）

かるたの聖地・大津の取り組みとして、百人一首や競技かるたを活用したイベントの開催や大津で開催される競技かるた大会の運営補助や宿泊斡旋等の受入支援などを行い、誘客促進を図る。

(4) 観光案内所運営事業（委託）

地元と連携を図りながら、石山駅観光案内所、堅田駅前観光案内所の運営を行う。

(5) サテライト観光案内所運営事業（委託）

来訪客の満足度向上のため、市内で行われるスポーツイベントや祭り等で臨時の観光案内所を開設する。また、市外のターミナル施設などにおいて、季節の観光情報の発信を行い、大津市への誘客促進を図る。

(6) 観光ボランティアガイド活用事業（自主）

来訪者の満足度向上のため、市内ボランティアガイド団体と連携して受入体制の充実を図る。

①研修会の開催による資質の向上

②ガイド人員拡充等、体制の充実

(7) びわ湖疏水船事業の活用による観光振興事業（自主）

「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」において京都市観光協会と共に中核を担う役割として疏水船の利用促進と安全運航の推進を図ると共に、将来的な基盤整備の検討を行う。

また、大津港への延伸に伴う乗船前後の市内周遊促進を図り、京都・大津間の誘客ルートとして確立させ、インバウンド商品としての開発や大津市民への周知にも努める。

(8) びわこ花噴水運転事業（補助）

(9) びわ湖湖岸スペースの観光活用検討（自主）

びわ湖開きの賑わい創出やオクトーバーフェストなど、湖岸エリアのイベントと連携した取り組みを進めるとともに、LAGO大津の開業や新琵琶湖文化館、大津港再生の動きを踏まえ、湖岸

空間の観光活用を検討し、地域の回遊性向上やにぎわい創出の促進に取り組む。

3. 教育旅行受入対策事業 [3,872千円]

(1) 教育旅行誘致促進事業（補助・自主）

旅行会社との商談会やキャラバン、視察受入を通じ、大津市の教育旅行の魅力を発信し、誘致促進を図る。

①びわ湖大津教育旅行セミナー（商談会）

首都圏・関東・京阪神エリアを対象に開催し、地域全体での受入体制をPRする。

②旅行会社キャラバン・視察対応

びわこビジターズビューローと連携した、旅行会社への訪問活動や視察受入を実施する。

(2) 情報発信事業（補助）

教育機関や旅行会社に向け、大津市の教育旅行プログラムや観光施設の魅力を発信し、誘客を促進する。

①ターゲットエリアおよび旅行会社への情報発信

「びわ湖大津SDGs学習プログラム」やモデルコースを含む企画書を作成し、県外の教育機関や旅行会社へ配布する。

②旅行業界紙や教育専門誌への広告掲載

専門誌に記事広告を掲載し、大津市の教育旅行受入体制の認知拡大を図る。

(3) 教育旅行視察誘致事業（補助）

大津市への滞在型教育旅行を検討する地域連合体や教育関連団体、学校などを対象に視察誘致を実施し、誘客促進を図る。

(4) 教育旅行企画書・プログラム充実事業（補助）

教育旅行の企画書整備や新規プログラムの開発を行い、誘致促進を図る。

①教育旅行ホームページや企画書・タリフの作成・整備

旅行会社や会員事業者が活用できる企画書を作成し、情報を整理・提供する。

②新規体験プログラムの開発・拡充

地域の自然や歴史文化を活かし、SDGs学習や体験学習の充実を図る。

4. MICE・インバウンド対策事業 [5,807千円]

(1) MICE・インバウンド誘客促進事業（自主）

大津市MICE推進室やびわこビジターズビューローと連携し、MICEおよびインバウンドの誘客促進を図る。

①BVB インバウンド部会による商談会参加および情報提供

②大津市MICE推進室と連携し、受入環境の整備や情報共有を進める。

③スポーツイベント誘致促進（観光宣伝誘客部会連携事業）

(2) 関西万博を契機としたインバウンド需要拡大事業（自主）

関西万博を契機に、インバウンド需要の拡大を図るため、プロモーションを実施する。

- ①万博会場内のブース出展や各種PR施策を通じ、びわ湖大津の認知度向上を図る。
- ②万博公式HPの特設ページを活用し、観光情報を発信する。

(3) 着地型観光コンテンツ整備事業（補助）

インバウンド市場で関心が高まるサステナブルツーリズムの視点を取り入れ、大津市ならではの観光資源を活かした着地型観光プランを整備し、誘客促進を図る。

- ①市内の観光地と事業者を組み合わせた周遊プランの整備。
- ②インバウンド・MICE向けの地域資源を活かした体験プラン

(4) MICE・インバウンド向けプロモーション・セールス事業（補助）

国内外の商談会やプロモーション活動を通じ、新たな需要獲得を図る。

①国内商談会活用・市場開拓事業

商談会（VJTM等）への参加やセールスを通じて、国内・海外の旅行会社やランドオペレーターに大津市の観光資源を提案し、インバウンド誘客と旅行商品の造成を推進する。

②海外プロモーション・セールス事業

重点市場である台湾などで現地セールスを実施し、滞在型観光商品の造成を促進する。

(5) 通訳ガイド活用促進事業（自主・委託）

大津市が参画する京都市認定通訳ガイドの活用を促進し、会員事業者との連携を強化する。

①通訳ガイドのマッチング支援

観光事業者と通訳ガイドをつなぎ、受入対応力を強化する。

②通訳ガイド研修の実施

大津市の歴史・文化、観光資源を学ぶ研修を開催し、通訳ガイドの資質向上を図る。

5. 広域観光振興事業 [8,948千円]

(1) 滋賀県・(公社)びわこビジターズビューローとの連携事業（補助・自主）

滋賀県およびびわこビジターズビューローが行う事業と連携して効果的な観光情報発信と誘客イベント等を実施する。

①県主催観光誘客事業における地域情報の提供および誘客イベントの実施

いこうぜ♪滋賀・びわ湖キャンペーン並びに戦国キャンペーンへの参画

②県観光情報誌等への情報提供

③国内旅行商品企画担当者商談会での情報提供および商談

④会員に向けて県が行う各種観光支援施策の周知ならびに活用促進を図る

(2) 湖信会十社寺との連携事業（自主）

湖信会十社寺との連携により、文化財・文化的景観による観光誘客や、子どもたちや地域住民の誇りになる活動を活用して市内来訪・周遊の促進を図る。

(3) 大津市諸団体との連携事業（自主）

大津商工会議所、大津市公園緑地協会、比良比叡トレイル協議会など市内諸団体と連携を図り、地域における観光振興推進に取り組む。

(4) 大津志賀観光振興事業（補助）

より広範囲に大津観光の展開を図るため、びわ湖大津志賀観光振興協議会に参画し、誘客事業、誘客促進事業を図る。

(5) 地域観光振興事業（補助）

大津市内の地域観光協会や諸団体が年間を通じて実施している、観光PRやイベント事業の活性化を通じて地域振興を図る。

(6) 市内観光事業への後援・協賛等（自主）

関係諸団体の主催する観光事業等に対し、後援・表彰等を行い観光振興の機運醸成に努める。

6. 物産振興事業 [1,104千円]

(1) 物産プロモーション事業（補助）

WEB・SNS等を活用した情報発信に加え、今年度は特に、大規模な集客が見込まれる国スポ・障スポ会場での物産展出店に重点を置き、地域物産の認知度向上と消費促進を図る。

- ①季刊情報誌やSNS等を活用した情報発信
- ②「大津のうなぎ」ブランディング事業との連携
- ③わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025大会への出店ならびに会場での物産PR

(2) 市内外開催イベントおよび物産展等への出店事業（自主）

観光イベントや物産展において、地域物産の販売機会を創出し、物販支援を通じて地域事業者の販売促進に寄与する。

- ①わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025大会での物産展
- ②近鉄百貨店草津店「近江路」
- ③行こうぜ♪滋賀びわ湖in名古屋（びわこビジターズビューロー主催）
- ④大津祭に伴う物産展
- ⑤その他県内開催イベント等における出展など

(3) 土産品等商品開発促進事業（自主）

大型イベント等で土産品需要の拡大が見込まれる際、タイミングを捉えた新たな商品開発を促すため、事業者向けに情報提供等を行う。

(4) 国スポ・障スポを契機としたスポーツツーリズム促進事業との連携（自主）

観光誘客事業やスポーツツーリズムと連携し、物産を活用した地域周遊や消費拡大に取り組む。

【収益目的事業】

観光協会の自立的な運営基盤を強化するため、物販・旅行業・チケット販売などの収益事業を展開し、あわせて観光振興と地域経済の活性化を図る。

1. 物販事業

観光名刺台紙や観光キャラクター関連商品、地域の特産品・工芸品を開発・販売し、観光客への訴求力を高める。

2. チケット販売事業

イベント入場券や企画乗車券類を販売し、観光客の利便性向上と誘客促進を図る。

3. 市内開催イベント等での物販支援事業

市内観光イベントでの物販を支援し、地域事業者の販売機会を創出。観光誘客への波及効果を高める。

4. 旅行業事業

（1） びわ湖大津の魅力を活かした着地型観光商品の造成・販売

歴史・文化・自然、季節の特色を活かした着地型観光商品や体験プログラムを造成、販売し、観光客の滞在促進と、市民に地元の魅力を再認識してもらう機会とする。

（2） SDGs学習プログラムを活用した教育旅行受入

びわ湖大津SDGs学習プログラムを活用した体験・学習プランを販売し、持続可能な観光の推進と新たな観光需要の獲得につなげる。

（3） 全国高校かるた選手権大会等の着地型イベント受入

全国規模の大会・イベントを通じ、地域内周遊を促進し、滞在時間の延長と消費拡大を図る。

（4） 着地型観光の受入支援機能の強化

国内外の旅行会社と連携し、着地型観光商品の手配・受入業務を行い、誘客促進を図る。

【会議】

（1） 通常総会

（2） 理事会

（3） 専門部会（総括部会、総務部会、観光宣伝・誘客部会、教育旅行部会、物産振興部会）

（4） 地域観光協会連絡会議（地域観光協会懇話会）